

授業科目	家族心理学演習				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31414J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	水貝 洵子							
授業概要	<p>現代の家族の抱える課題や特徴を社会学的視点、発達心理学的視点、臨床心理学的視点から捉え、家族に対する多面的な理解を得ることを目的とする。</p> <p>テキストや文献をもとに、さまざまな発達段階にある家族に関する理解を深めていく。</p> <p>さらに、事例検討やロールプレイングを通し、実際的な気づきを得ながら、家族の支援の在り方について学びを深めていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1わが国の家族の変化についてや、現代の家族のおかれた社会的状況を適切に理解し、説明することが出来る。</p> <p>2システム論に基づく家族への理解を深め、システム論について説明することが出来る。</p> <p>3家族の各発達段階における課題や特徴について理解し、個々の問題への支援方法について検討できる。</p> <p>4家族の問題解決を家族と共に進めることが出来るような基本的な態度とスキルを獲得する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	0	60	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			30				30	
知識・理解 (DP1-2)	25						25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	15						15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			30				30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
現代の家族のおかれた状況や、家族が抱える課題について、適切に説明することが出来る。 文献を通じた理解と、これまでの経験を結び付け、より家族当事者の体験や気持的な理解を得ることが出来る。 これまで関わってきた事例や、社会で注目されている家族に関する問題について、家族心理学の視点から考察し、有効な支援の在り方や今後の課題について考察することが出来る。				現代の家族のおかれた状況や、家族が抱える課題について、説明することが出来る。 文献を通じた理解と、これまでの経験とを結び付け、より家族当事者の体験や気持的な理解を得ることが出来る。 家族支援の在り方について、家族心理学的な視点を今後の実践の参考にすることが出来る。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション: 本授業のオリエンテーションを行う。 また、小レポートで、家族における課題や現代的な問題において、どんなことに関心があるのか記述し、提出してもらう。	講義 ワーク	なし	0
2	テーマ:家族療法について1 家族療法における家族の問題の捉え方や考え方について解説を行う。家族療法的な視点から家族の問題を考える演習を行う。	講義 ワーク	該当箇所の復習	30
3	テーマ:家族療法について2 家族療法において用いられる技法を紹介し説明を行う。適宜、個人で取り組むワークを行う。	講義 ワーク	該当箇所の復習	30
4	テーマ:家族の発達 若い成人期 家族の発達段階における「若い成人期」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
5	テーマ:家族の発達 結婚による家族の成立 家族の発達段階における「結婚による家族の成立期」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
6	テーマ:家族の発達 乳幼児を育てる段階 家族の発達段階における「乳幼児を育てる段階期」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
7	テーマ:家族の発達 小学生の子どもとその家族 家族の発達段階における「小学生の子どもを持つ段階期」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
8	テーマ:家族の発達 若年世代とその家族 家族の発達段階における「若年世代の子どもと家族」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
9	テーマ:家族の発達 老年期の家族 家族の発達段階における「老年期の家族」について、発達課題や危機などを中心に解説する。その後、講義内容を踏まえたワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
10	テーマ:家族における臨床的問題 夫婦関係を支援する 家族における臨床的問題として「夫婦関係の危機と支援」を取り上げる。ポイントの解説や資料の提示を行い、その後、適宜ワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
11	テーマ:家族における臨床的問題 乳幼児の子育ての問題と援助 家族における臨床的問題として「乳幼児の子育ての問題と支援」を取り上げる。ポイントの解説や資料の提示を行い、その後、適宜ワークを実施する。	講義 ワーク	該当箇所の復習	60
12	テーマ:家族における臨床的問題 事例の検討1 これまでの学習内容を踏まえ、受講学生の関心領域のある事例を取り上げる。事例についての解説を行い、実際の事例の理解の仕方や援助の在り方について検討を行う。	講義 ワーク ディスカッション	該当箇所の復習	60

13	テーマ:家族における臨床的問題 事例の検討2 これまでの学習内容を踏まえ、受講学生の関心領域のある事例を取り上げる。事例についての解説を行い、実際的な事例の理解の仕方や援助の在り方について検討を行う。	講義 ワーク ディスカッション	該当箇所の復習	60
14	テーマ:家族における臨床的問題 事例の検討3 これまでの学習内容を踏まえ、受講学生の関心領域のある事例を取り上げる。事例についての解説を行い、実際的な事例の理解の仕方や援助の在り方について検討を行う。	講義 ワーク ディスカッション		60
15	テーマ:授業のまとめ これまでの学習内容のまとめを行う。	講義		30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会福祉学の基礎科目を履修していること。			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「発達家族心理学を拓く 家族と社会と個人をつなぐ視座」 柏木恵子(監修)塘利枝子・福島朋子・永久ひさ子・大野祥子(編) ナカニシヤ出版 「家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助」 中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子(著) 有斐閣ブックス			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	家族に関する文献やニュースなどに関心をもって接するようにし、これまでに会った事例を思い浮かべておくと、授業内容に活かされる。 ロールプレイングなどのワークを適宜実施する予定である。ワークやディスカッションへの積極的な参加が求められる。
達成度評価に関するコメント	授業は遠隔にて実施する。 レポートや試験の詳細については、講義内で適宜、指示する。 レポート(60%)は各講義で、質問感想シートやワークとして提示されるものである。小レポート等を含む。